

単元ごとの指導と評価の計画・記録シート（ミニ版）

授業者名：○○ ○○

科目名	物理基礎	クラス・類型	1年〇組
単元名	第1章 運動とエネルギー 第3節 仕事と力学的エネルギー	予定時間	6時間
単元ごとの観点別学習状況の評価規準			
知・技	各種エネルギーや仕事の計算方法を理解している。 エネルギーの関係を利用し、物理量を計算する方法を理解している。		
思・判・表	物体のエネルギーの関係について、グラフなどを用いて解析することができる。 学んだ内容を応用し、身近な物理現象でのエネルギーの変換について考えることができる。		
主体的態度	単元の内容を主体的に学習し、身近な例について考察するなど科学的に探究しようとしている。		

時間	学習活動	重点項目	記録	評価の規準	授業チェックと改善方法（実施後記入）
1	教科書 p. 88～91 ・仕事と仕事率	知		仕事の意味や計算方法を理解している。	仕事の計算方法を忘れる生徒が多く、適宜復習を行った。
2	教科書 p. 92～93 ・仕事の原理	態		仕事の原理を理解し、身近な応用例について考察できる。	滑車など、仕事の原理を扱う問題演習を多く行った。
3	教科書 p. 94～96 ・運動エネルギー ・運動エネルギーの変化	知		運動エネルギーの計算方法と仕事との関係を理解している。	運動エネルギーの変換の関係式を、周囲の生徒同士で確認させた。
4	教科書 p. 97～101 ・重力による位置エネルギー ・弾性力による位置エネルギー	思		位置エネルギーの意味と計算方法を理解し、位置エネルギーの考え方を別の例にも応用できる。	位置エネルギーの意味について、周囲と考えさせる機会を多く設けた。
5	教科書 p. 102～106 ・力学的エネルギー ・力学的エネルギーの保存	知		力学的エネルギー保存の考え方を適用して、さまざまな物理量を計算できる。	力学的エネルギー保存を利用した演習課題に多く取り組ませた。
6	教科書 p. 107～108 ・保存力以外の力がする仕事	思		力学的エネルギーの変化を計算できる。運動エネルギーの変化と力学エネルギーの変化の違いを説明できる。	周囲と相談しながら、授業内容を振り返る時間を多く設けた。

凡例 知：「知識・技能」，思「思考・判断・表現」，態「主体的に学習に取り組む態度」

◎…記録として残して、後で総括的な評価のための資料とするもの。